

磐城時報

印刷所 磐城時報社
発行所 磐城時報社
〒961 磐城
電話 二二二
代金 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
廣告料 別表参照
印刷部 電話 二二三
編輯部 電話 二二四
社務部 電話 二二五
電話掛 電話 二二六
電話掛 電話 二二七
電話掛 電話 二二八
電話掛 電話 二二九
電話掛 電話 二三〇
電話掛 電話 二三一
電話掛 電話 二三二
電話掛 電話 二三三
電話掛 電話 二三四
電話掛 電話 二三五
電話掛 電話 二三六
電話掛 電話 二三七
電話掛 電話 二三八
電話掛 電話 二三九
電話掛 電話 三三〇
電話掛 電話 三三一
電話掛 電話 三三二
電話掛 電話 三三三
電話掛 電話 三三四
電話掛 電話 三三五
電話掛 電話 三三六
電話掛 電話 三三七
電話掛 電話 三三八
電話掛 電話 三三九
電話掛 電話 三四〇

炭礦の應援を得て 回春園改築

本年中には完成

縣衛生課では結核撲滅のため石快諾、改築計画に對し相當の寄城郡豊間村に設置しある結核患附をなすことを承諾、その金額者療養の回春園を現在の貧弱なが六千圓に達するに至つたので建物より理想的なものに建てか同課ではこれを以て先づ八疊六へるべく昭和十年と十一年の豫間の日本間式理想的病舎一棟を算編成當時二回に亘りこれが工新築することに決定既に諸準備費約一萬圓を要求したが知事のを終了した。この病舎が完成後査定により縣財政困難なる今日現病舎を取り壊し今後更に一萬當分留保の外なしとされ遂に實圓の縣費支出により全病舎を改現するに至らぬのでこれを深築擴張する豫定で、六千圓の寄く遺憾とした土屋衛生課長は黒附による病舎は年内中に完成すダイヤ景氣の潮に乗りつゝある管で關係方面から大いに期待石城地方炭礦方面の助力を得てされるものあり、土屋課長の勞この問題を解決せんと思城、入を多とされてゐる。なほ同團に山、古川の三大炭礦始め石城の收容してゐる現患者數は約五十各炭礦に對し助力分を交渉した名である。ところ關係者何れもこの申出を

昭和入絹の保険金 各社で協議を開く

會社では復興を急ぐ

未曾有の災禍に見舞はれた廿八工場復興を具体的に決定するこ日來村してから引き續き工場にこに成つたが、歸京に先立ち高あつて社員を奮勵する一方重役橋社長は語る
會議に臨むなど焼失工場に復舊
對策に奔走してゐる昭和入絹會
社高橋社長は三十一日夜歸京本
社において重役會議を再召集し

模その他一切は歸京してから重役會議を開いて決定することに成らう。
尚各契約保險会社の損害は大體終つたので今明月中に關係會社の協議會を開いて保險金支拂ひ額を査定する管で、焼失工場に復舊策も又この保險金額如何に依つて規模を決定するらしく昭和入絹側では關係保險会社の査定を最も重要視してゐる。
職工手當金
大部分決定
平廣告研究會で
全國ポスター展
マルトモホールに開く

平廣告研究會で 全國ポスター展 マルトモホールに開く

平廣告研究會では三日・四日兩日マルトモホールで第一回講習會を開くが、講師は奥山儀八氏である。同會は平町二丁目なかな洋服店に置き隔月に一回宛例會を開く管で、役員は左の如くである。

- 會長 平商業學校 齋藤 久基
副會長 屋山崎忠兵衛
會員 白菊酒店 内倉 武雄
大黒屋洋品店 馬目 精一
佐々木看板店 佐々木三郎 鈴木二男 十九 是窃盜の嫌疑でなかや洋品店 永山 小平
小谷洋紙店 小谷 一
西村屋洋品店 鈴木新工門
伊関呉服店 伊関 克巳
坂本紙店 坂本 昌藏 伏してゐる事判明松原署に捕はられた。
中野洋品店 中野 勇

昭和入絹では藥品化學工場に勤務する熟練工七百名を離し他の工場に勤務する男工千名、女工一千八十名を解雇することに決し卅一日申し渡した。手當は規定の十四日分と休業中の日給六寒流その他のため不漁続きであつた小名濱町では今度こそ大馬力で高橋大敷網漁業事務所等にしたので本縣出身の五百名はでは萬全を期し廿五日より人夫一日午後二時十五分植田發で五百五十名を乗せて準備に着櫻と相俟つて好景氣を展開するものと今から期待されてゐる多獲の時は約十萬圓程度の漁を日給の五百日分と香奠一人三百見越してゐるが、この夢の様な贈ることとなり、また精神仕上主任林太郎氏の弔慰金は追つて重役會で決定するはず。

今年こそは意氣込む 小名濱大敷網 人夫百五十名で投網

平署に檢舉
泥棒酌婦

湯本町三國料理業大谷銀治方抱酌婦松浦アサノ(二二)は昨日午後二時頃同僚酌婦歌川シゲル(二五)の腕時計十二圓を窃取した事發覺平署に捕はれた。

伊達郡小網村字芹の澤萬四郎長男豊佐藤政雄(二六)は同郡明治村道路救濟工事の監督に従事中去月六日仕事場から突然行衛を晦まし内郷村の弟宅に立寄つたまでは判つたがその後の行先不明なので平署に捜索方を願ひ出た。

相馬郡中村町清水清水忠助内妻同郡飯豊村程内生れ敷内(二七)は數日前夫の留守中無斷家出平町方面で女給をしてゐるらしいと平署に捜索方を願ひ出た。

松原で捕はる
窃盜嫌疑者
代金をこつて
品を送らぬ

大谷刑事逝く
大擴張の
福壽軒

平町町丸新デパート西洋料理福壽軒は開業三十年の歴史を持つ老舗で福壽軒を味はざれば西洋料理を知らずと持つてはやきと洋料理の味はざれば現今のお客様は中村町魚問屋伊藤一郎から免をビスでなければ客を引つけられぬ様になつた。其れでも今其後十圓分だけ送らぬので

大谷刑事は双葉郡龍田村井出生れ昭和二年十二 本縣巡查を拜命、平署に勤務七年一月以來刑事として敏腕を揮つてゐた人である。

大擴張の福壽軒
平町町丸新デパート西洋料理福壽軒は開業三十年の歴史を持つ老舗で福壽軒を味はざれば西洋料理を知らずと持つてはやきと洋料理の味はざれば現今のお客様は中村町魚問屋伊藤一郎から免をビスでなければ客を引つけられぬ様になつた。其れでも今其後十圓分だけ送らぬので

大谷刑事は双葉郡龍田村井出生れ昭和二年十二 本縣巡查を拜命、平署に勤務七年一月以來刑事として敏腕を揮つてゐた人である。

ランドセル

新學期が近づきました。例年「中野の品ならば」と信用を置いて居ります。ランドセル・カバン 學生帽子 其他學用品の新製品が全部取揃ひ皆様をお待ちして居ります。

中野洋品店
平二・電話五三

友

中等教科書 國定教科書

交換各種辭書 各種全科類 豊富に取揃ひました

マルトモ書店
柴田書局
電話 二二三 二二四 二二五 二二六 二二七 二二八 二二九 三三〇 三三一 三三二 三三三 三三四 三三五 三三六 三三七 三三八 三三九 三四〇

大擴張の福壽軒

平町町丸新デパート西洋料理福壽軒は開業三十年の歴史を持つ老舗で福壽軒を味はざれば西洋料理を知らずと持つてはやきと洋料理の味はざれば現今のお客様は中村町魚問屋伊藤一郎から免をビスでなければ客を引つけられぬ様になつた。其れでも今其後十圓分だけ送らぬので

奉祝平町鎮座縣社子鏡倉稻荷神社 廣告祭假裝行列大會

一、四月十七日(宵祭) 參加店主參列商運隆盛祈願式
箱札進呈
二、四月十八日(渡御祭) 廣告假裝行列町内行進の
上審査會を縣社境内に於
て行ふ
一、賞品 一等榮譽ある平町長優勝旗並に賞金拾圓
副賞付、二等以下十等迄高級賞品を進呈
參加者には中食付記念品進呈
時間、行列行進順序、審査員、賞品其他追て詳報す
奮つて御參加を乞ふ

主催 平町新聞社
後援 平町役場
平町各新聞社

擴張御披露

非常時日本の更正に皆様の御健康を護る
最も進歩せる洋食と支那料理
△三大モットー

▲味良く (自信の出来る研究の結果を)
齎らします

▲量多く (自ら庖丁を手にして他人に委せは必)
ず勉強振りを益に依つて現します

▲衛生上 (加熱消毒を致します)
(食器の洗滌に留意し)

田町銀座街より一步御入になれば、感じのよい
設備で御家庭を延長した御気分が味は純粋にも
近く御便宜で御座います

○材料は日々京濱地方より新品到着致します

出前迅速

平町田町

福壽軒

電話一八八番

吉田眼科醫院

平町紺屋町(電話六八番)

魚沼すから

ヒール凍魚

日本産三特約(三三三三三三三三)
平製米會社
代理店 印魚尚屋
四丁目五二八番

毎度特に御引立に預りまして厚く御禮
申上げます。寒かつた冬も何時の間にか過
ぎ去りまして楽しい春が訪れて参りました
もふ櫻も二句の後に迫つて來ました。

すし折や詰魚折詰の品物が段々入
荷致しました。何卒花見には多少共御下
命の程伏して御願ひ致します。
年末筆來る春と共に皆様の御健康と御繁榮
を祈り致します。

出前 平町三善邊(通り)
迅速 魚清食堂
電話六三三番

魚清食堂

電話六三三番

産婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥劑師 大岩俊雄

入院隨意
病室完備

木村病院

電話一六四番

RESTAURANT.
TEA AND WINE
洋食 喫茶
コンパル
平町電六六六番

牛豚肉
平町田町
三三三三屋
電話三三三番

天藏省允許
無盡城塔
平町三三三番

新設
外科 内臟外科 院長 安齋 徹
エツキヌ光線科
産婦人科 醫學士 黒澤 廣

入院隨意
平町田町
安齋醫院
電話四七五

勉強の店 (良クテ安イ)
建築美品
床柱 天井板 ベニア板
新入荷品、秋田杉四分板、山川印優品建具材
内外銘木 建築木材一式 便利瓦、木羽
余鐵田材木商店
平町紺屋町
電話四六〇番
◎建築木材ノ御用命ハ誠實勉強ノ當店ニ◎

御旅行に
素晴らしい乗心地の!
三五年式流線型新車を!!
是非御利用御用命の程を御願申します。

三井タクシー
電話六八五番

小店员募集
頭と身体の働人
西村屋藥局
平二・電三